

センターのあった場所は現在マンションになっていますが、実は大正時代から映画館（活動写真館）があった場所でした。今回は映画館や劇場が立地して賑わった仲町通りについてお話しします。

川  
町  
谷長  
大成館  
説教所  
古  
知事官舎  
島  
日本キリスト教会  
サクラ町  
文  
長島  
新町尋常  
小學校

This is a detailed historical map from the Japanese colonial era in Taiwan. The map shows a grid-like street pattern with various labeled locations. In the upper right, there are labels for '長官官舎' (Chief's Office) and '知事官舎' (Magistrate's Office). To their left is '縣廳' (County Hall). Below these are several smaller buildings, including one labeled '日本基督教青年會' (Japanese Christian YMCA). A prominent label '台灣博物館' (Taiwan Museum) is circled in red. Other visible labels include '小島物産館' (Small Island Product Museum), '小島神社' (Small Island Shrine), and '小島公園' (Small Island Park). The map uses different patterns and colors to distinguish between various types of land or buildings.

そして、昭和 43 年 3 月に第一劇場が閉館したあと、昭和 44 年 12 月に青森日活レジャーセンターが開館しました。センターは多くの市民に利用されましたが、平成に入ると映画離れが進んだこともあって青森市内の映画館数は減少し、センター内の映画館・松竹地下劇場も平成 2 年（1990）4 月に閉館しました。

『新青森市史』ではかつて青森市にあった映画館についても取り上げておりますので、以前ご紹介したマップ「嗚呼、懐かしのぼくたちの青森市—『新青森市史』にみる中心市街地の戦後史—」とあわせてご覧いただければと思います。



マップ「嗚呼、懐かしのぼくたちの青森市」より  
仲町通り周辺

※今回の内容は『新青森市史』通史編第3巻・第4巻、『青森市戦災復興五年史』、今田清蔵編『青森市誌』などを参考にしました。